

しちかしゆく 議会だより

第254号

令和7年5月1日(2025年)

- 令和7年度一般会計予算・特別会計予算の構成 2～4 P
- 令和7年第1回臨時会 4 P
- 議会定例会開催・予算特別委員会 5～8 P
- 予算委員長報告 8 P
- 一般質問 4名の議員が町政を問う 12～15 P
- クローズアップ「湯原地区のまつり」 16 P

令和7年度関保育所入所・進級式の一コマです。

令和7年第1回議会定例会

本年度予算の振り分けが決定されました 予算の質疑は6～7 pに記載

経費の構成（歳出） 主な事業

総務費 6億3,988万円 ○職員給料、手当 ○地域おこし協力隊補助金 など	議会費 5,687万円 ○議員報酬、旅費 ○議会だより作成費 など
衛生費 2億2,854万円 ○薬局運営安定支援金 ○事業会計繰出金（簡易水道） など	民生費 3億1,602万円 ○出産・子育て支援金 ○社会福祉・児童福祉費 など
商工費 1億8,536万円 ○長老湖トイレ浄化槽更新工事 ○キャンプ場改修工事 など	農林水産業費 1億6,068万円 ○農林業生産者育成事業 ○中山間地域等直接支払い交付金 など
消防費 1億8,080万円 ○消防団員確保対策 ○防災無線設備工事 など	土木費 2億5,513万円 ○町道路面舗装工事 ○地域担い手づくり新築工事 など
災害復旧費 460万円 ○大原用水路修繕設計業務 ○滑津用水路災害復旧工事	教育費 3億1,100万円 ○宇検村交流事業 ○学校施設及び基本設計業務 など
予備費 1,118万円	公債費 2億6,483万円 ○町債元金償還金 など

令和7年 第1回定例会概要

第1回議会定例会は去る3月4日（火）から3月14日（金）までの11日間開催され、町長から提出された令和7年度各種会計予算について予算特別委員会を設置し審査を行いました。

◆令和6年度一般会計補正予算 ◆条例の一部改正 ◆人事案件等への質疑が行われ、令和7年度一般会計予算は予算特別委員会へ再付託されましたが、すべて原案どおり可決されました。3月6日（木）には4名の議員が一般質問で町政執行について問いました。

令和7年度財源の構成（歳入）

一般会計予算総額 26億1,500万円

地方交付税 11億円 ○普通地方交付税 ○特別地方交付税 など	町税 5億1,108万円 ○町民税 ○固定資産税 など
国庫支出金 1億6,313万円 ○社会福祉費負担金 ○農林水産業費交付金 など	基金繰入金 3億3,336万円 ○財政調整基金繰入金 ○地域担い手づくり基金繰入金 など
町債 1億7,180万円 ○過疎債 など	寄附金 200万円 ○ふるさと納税寄付金 など

令和7年度 特別会計予算総額 **6億8,850万円**

◆介護保険	2億7800万円
◆後期高齢者医療	2450万円
◆国民健康保険(直診)	1億700万円
◆国民健康保険(事業)	1億9600万円
◆介護サービス	2300万円
◆町営バス	4600万円
◆七ヶ宿ダム自然休養公園	1400万円

2事業会計(水道・下水道事業会計) 予算

簡易水道事業収益	9,160万円	資本的収入	1,775万円
簡易水道事業費用	9,160万円	資本的支出	2,225万円
下水道事業収益	1億7,609万円	資本的収入	5,095万円
下水道事業費用	1億7,726万円	資本的支出	5,986万円

不足分は企業債や留保資金等を措置しています。

令和6年度 一般会計補正予算(第5号) **1900万円追加**

【主な歳入】

国庫補助金	1,641万4千円
繰入金	258万6千円

【主な歳出】 (各事業者に対しての支援金事業)

エネルギー価格高騰対策支援金 (16社に配分)	150万5千円
畜産業燃料等高騰対策支援金 (7軒に配分)	97万5千円
高齢化施設等物価高騰対策支援金 (いこいの里)	23万5千円
スキー場物価高騰対策支援金 (スキー場)	37万5千円
高齢者買い物物価高騰対策支援金 (移動販売事業)	100万円
木質バイオマス施設物価高騰対策支援金 (やすまっしえ)	100万円

令和7年第1回議会臨時会
会期(令和7年1月28日)

令和7年第1回七ヶ宿町議会定例会
会期(3月4日~14日)

3月4日より議会定例会が開会されました。
5日に議員全員が集まり、令和7年度の予算書を基に勉強会を行い議案審議に臨みました。

◆主な案件

- ◆教育委員会委員の任命
- ◆条例の改正
- ◆令和6年度 一般会計補正予算
- ◆令和7年度 一般会計予算 (2・3Pに詳細を記載)
- ◆令和7年度 特別会計予算
- ◆追加提案
- ◆議員発議

◆教育委員の任命



たべゆうこ 氏
田部祐子氏

◆条例の改正

- ◆4件の提案がありいずれも原案どおり可決
- ◆七ヶ宿町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- ◆七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅条例の一部改正について

他2件

令和6年度補正予算(第6号) 一般会計8050万円追加

主な歳入

- ◆地方交付税 1億6642万円
- ◆繰入金 6021万円

主な歳出

- ◆総務費 1億8025万円
- ◆民生費 2389万円
- ◆衛生費 737万円
- ◆農林水産業費 1175万円
- ◆商工費 440万円
- ◆土木費 5079万円
- ◆消防費 134万円
- ◆教育費 634万円

特別会計

- 介護保険 1200万円
- 後期高齢者医療 150万円
- 国民健康保険(事業勘定) 600万円
- 国民健康保険(直診勘定) 900万円
- 介護サービス 50万円

2事業会計(水道・下水道事業会計) 補正予算

簡易水道事業収益	▲63万円	資本的収入	-万円
簡易水道事業費用	▲476万円	資本的支出	▲22万円
下水道事業収益	57万円	資本的収入	▲555万円
下水道事業費用	▲275万円	資本的支出	▲458万円

◆総括質疑

問 担い手づくり支援住宅建築はいつまで継続するのか。
答 移住人口が増えているので定住促進のため継続していく。

問 通院タクシーを買い物時にも利用できるか。
答 通院を目的としているが、ついでに買い物をすることもできる。

問 学校再建はどのような学校をどこに建設するのか。
答 9年間の義務教育学校を現在の七ヶ宿中学校駐車場付近に建設を予定しているが、財源確保が課題となる。

問 院外薬局への助成支援は。
答 今後も年9百万円で運営を助成していく。



▲ひがし薬局

◆予算委員会質疑

問 電気や灯油代の負担が大ききく、低所得者や年金生活者への給付支援政策が必要では。
答 状況等を把握しながら、必要があれば対応を考えた。

問 荒れた農地や農家の高齢化などの課題があるが、令和7年度の農業政策はどのように進めるのか。
答 優良な農地を守り継続性のある農業を目指し、各集落関係では交付金活用を効率よく図りたい。

問 若い世代が安心して出産できる環境整備への考えは。
答 近隣の各首長と連携して国や県に要望し、安心して子育てできる環境を考えて進めていきたい。

予算特別委員会

歳入

問 ダム交付金で約2千6百万円の増額の理由は。
答 発電設備の更新で今年度増額となった。

問 地方交付税で約5千万円増額の要因は。
答 人口の減少により、令和7年度の試算は5千万円増となる。

問 基金残高23億7千万円の中で、令和7年度も1億4千万ほど取り崩す説明があったが。
答 なるべく財政調整基金を減らさず、学校を建てるまで5〜6億円程は積み立てたい。

歳出

総務費

問 指定金融機関関連の委託料百十万円を支払う理由は。
答 国から指導があり、業務委託料を支払う。

農林水産業費

問 町有林も含め、民有林、道端林業など林業振興への考え方と連携は。
答 今年度も、東谷地山を中心に造林、保育事業、下刈り、収入間伐などの事業を行い、また事業者と情報交換も含めて連携を図りながら事業を進めたい。



教育費

問 学校建設事業を進めるのに、町民や保護者の意見を聞く柔軟な姿勢が必要ではないか。
答 基本構想がまとまったらパブリックコメントを募集し、基本計画が決まった段階で住民への説明会など意見を求める場を設けたい。

問 町の施設も補修解体などが必要なのは。
答 財政も裕福ではないが、「旧道の駅ありや」をなるべく早く解体したい。

民生費

問 少子化対策で、子どもの人数を考慮して予算付けしているのか。
答 前年実績より1名から2名分、妊娠・出産に係る支援金は2名から3名分多めに予算計上している。

衛生費

問 にぎやか家族応援事業の内容は。
答 不妊検査料1回5万円を6回分で2組分のほか、交通費も1人6回分で1回2千円の5名分を予算化している。

問 七ヶ宿斎苑は令和7年度に町単独で補修が必要な状況となっているのか。
答 町単独ではないが、令和6年度に樹枝が煙突や電線にかかり町の作業員が切除。水回りは。

消防費

問 防災無線の本局と中継所を整備する間、既存の防災無線等の稼働は。また、工事の間は。
答 工期は12月まで、使えない時間は30分から1時間程度。今の機械は予備機として使う。

七ヶ宿ダム休養公園特別会計

問 利水市町や観光客への効果的な情報の発信と適切な環境整備を具体的にどのように行うのか。
答 パンフレットやホームページ、LINEなどで季節ごとに魅力的な情報などを発信し、環境整備は改めて現場でどんなことができるか確認したい。

公営下水道事業会計

問 下水道老朽化の状況と場所は。
答 マンホールポンプ場をカメラで点検し、下水道管内部の防汚塗装に剥がれがあったが、現状では問題ない。場所は境沢、竹ノ沢、峠田岩上、田堀入口の

は仙南広域を介して補修を行っている。

土木費

問 下平線トンネル照明修繕工事はいつ終わるのか。
答 トンネルは4カ所あり、照明の腐食で落下の危険性がある。毎年新たな照明を設置している。

商工費

問 長老湖トイレ浄化槽更新と滑津大滝階段すり修繕の内容は。
答 長老湖トイレは浄化槽本体から漏水が発生したため合併浄化層を新たに設置し、滑津大滝階段すりりは塗装を行い構造物の劣化防止と景観維持を図る。

問 スキー場管理費の備品購入費について、予算を超える分はまちづくり株式会社で支出するのか。
答 今後増えれば次年度以降に議会に提案したい。

町営バス特別会計

問 バス運行で利用者に対する接し方に問題があるという件を担当課では承知しているのか。
答 運転に対する情報は2件ある。発進するスピードや停車するタイミングの件とバス停の客を見過ごし、通過してしまった件。

4箇所。



議案の審議結果

【表の見方】 ○:賛成 ×:反対 欠:欠席 早:早退 議:議長 退:退席 除:除斥 投:投票 ※議長は採決に加わりません

会議名	議案番号	議案内容	議決月日	結果	議員名								掲載頁	
					1 高橋 浩之	2 高橋 きく子	3 渡部 英幸	4 五十嵐 敏夫	5 吉田 修	6 高橋 茂美	7 今野 三喜男	8 管原 研治		
臨時会	第1号	町長等の諸給与条例の一部改正について	1月28日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P4
	第2号	職員の給与に関する条例及び地方公務員の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第3号	令和6年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第5号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第4号	令和6年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第5号	令和6年度七ヶ宿町簡易水道事業会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第6号	令和6年度七ヶ宿町下水道事業会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
令和7年第1回定例会	第16号	教育委員の任命について	3月4日	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	議	P5
	第17号	七ヶ宿町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業に関する条例の一部改正について	3月6日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第18号	七ヶ宿町監査委員条例及び七ヶ宿町簡易水道事業及び七ヶ宿町下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第19号	七ヶ宿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めた条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第20号	七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第21号	字の区域を変更することについて	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第22号	令和6年度七ヶ宿町一般会計補正予算(第6号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P7
	第23号	令和6年度七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第24号	令和6年度七ヶ宿町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第25号	令和6年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第26号	令和6年度七ヶ宿町介護サービス特別会計補正予算(第1号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第27号	令和6年度七ヶ宿町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第28号	令和6年度七ヶ宿町公共下水道特別会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第7号	令和7年度七ヶ宿町一般会計予算	3月14日	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P2
	第8号	令和7年度七ヶ宿町介護保険特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第9号	令和7年度七ヶ宿町後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第10号	令和7年度七ヶ宿町国民健康保険特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第11号	令和7年度七ヶ宿町介護サービス特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第12号	令和7年度七ヶ宿町町営バス特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
	第13号	令和7年度七ヶ宿町七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃
第14号	令和7年度七ヶ宿町簡易水道事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃	
第15号	令和7年度七ヶ宿町公共下水道事業会計予算	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃	
第29号	町長等の諸給与条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	P5	
議発第2号	七ヶ宿町議会傍聴規則の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃	
議発第3号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	議	〃	

予算特別委員会審査結果報告

予算特別委員会委員長 五十嵐 敏 夫

本委員会は、3月10日から12日迄の3日間にわたり開催し、執行部からは町長以下、会計管理者及び担当課長並びに参事等の出席を求め、予算の全般的な事項や内容等について詳細に審査を行いました。

本委員会は3月12日に採決した結果、令和7年度七ヶ宿町一般会計予算は反対多数により否決となりました。なお、6特別会計予算、2事業会計予算については全員一致により可決いたしました。

その後、3月14日の本会議において令和7年度七ヶ宿町一般会計予算採決前に、予算委員会に再付託*の動議が提出され、再び、予算特別委員会を開催し審査の後に採決した結果、令和7年度七ヶ宿町一般会計予算は原案の通り妥当なものとして認め、全員一致で可決することに決定したことを報告いたします。



令和7年第1回定例会における予算特別委員会の背景

町議会議長 管原 研 治



◇予算特別委員会で一般会計予算を否決
当初予算の審議は、事業内容や予算額のほかに行政執行全般にわたる政治姿勢も審議対象としており、各事業の基本的な考えに対する質疑に加え、担当課から詳細の内容を確認しているが、新年度の予算審議において常日頃からの政治姿勢、(スキー場指定管理料・物価高騰支援・キャンプ場浴室改修・町内就労者確保など)に対する疑念が採決の重要な判断基準となって、一般会計予算が反対5賛成2の反対多数で否決となりました。

◇予算特別委員会へ再付託*
議会は主権者である住民を代表した意思決定機関であり、議案に対する賛否表明は議員(委員)個々の議会活動として最も尊重されることから、議員全員で構成する委員会で決定した委員長報告への質疑や討論はなく、本会議の採決で委員長報告が覆った前例はありませんでした。しかし、委員会で反対を表明した議員(委員)の意思や議決(可決・否決)権をゆがめる事件(議会の決定権もおびやかす状況)が発生したことから、議員全員で協議し議長提案で予算特別委員会へ再付託*となりました。

*再付託：委員会が付託された事件等について、いったん決定した後、誤り等の発見や事情の変化等により、自らの意思で決定を取り消し、審査・調査をやり直すことです。

議員研修報告

去る1月9日より2日間、千葉県美浜区にある「市町村職員中央研修所」にて、議員研修が行われました。

- ①「やる気と仕掛けでまちは変わる」
 - ②「いかに人間力・仕事力を磨き続けるか」
 - ③「住民から期待される議会になるには」
 - ④「超高齢化社会における地方議会のデジタル化とは」
- など、盛りだくさんの内容で、今後の議員活動に役立ちます。



「人口減少に伴う移住定住政策の構築は」

調査実施日 令和7年2月19日
調査事項 移住定住政策について

総務文教常任委員会 委員長 五十嵐 敏 夫

担い手住宅や民間住宅建設など移住定住政策を進めている一方で、町の人口や世帯数の減少に伴う、各集落間における人口減少の傾向に顕著な差が生じていることから、行政として現状をどのように認識し事業評価をしているかについて調査した結果、各委員から以下のような意見や提言がありました。

- 1、令和6年度の「担い手支援住宅」建築が1棟のみであったことは、事業継続そのものの廃止も視野に入れ、移住定住政策の総合的な事業評価を改めて行うべきである。
- 2、制度の導入は町、移住者の受け入れは地域住民、という行政執行ではなく、事業執行機関として移住者や地域住民の声を積極的に聴きながら、しっかりと対応すべきである。
- 3、移住定住にかかわる問題や人口減少対策は、縦割りを重んじる行政の考え方から、新たな「移住定住推進課（室）」などを設置し、移住者、住民、行政の横軸を重視した体制で取り組むべきである。

以上、人口減少に直面している我が町の移住定住政策が、より良い体制の構築の基にしっかり実績評価のできる行政運営を切に望み報告とします。

令和6年12月からの議長・議員の活動

活動日	場所	会議・行事名	出席者
12月10日	事務所	議会広報特別委員会	広報委員
12月16日	奈良県	議員視察研修	議員全員
12月20日	スキー場	七ヶ宿スキー場オープン式	議員全員
12月23日	大河南町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部
12月23日	大河南町	仙南巨理地方町村議会議長会	議長
12月25日	専修室	議会広報特別委員会	広報委員
12月26日	大河南町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部
12月27日	町内	字検村交流歓迎式	議長
1月6日	事務所	仕事始め式・辞令交付式	議長
1月7日	町内	新春交換会	議長
1月15日	仙台市	議員講座	副議長・3議員
1月15日	事務所	議会広報特別委員会	広報委員
1月15日	千葉県	町村議会議員特別セミナー	4議員
1月18日	仙台市	日本創生に向けた人口戦略フォーラム	議長
1月21日	白石市	白石商工会議所新春大会	議長
1月24日	町内	町農業委員会新年会	議長
1月27日	仙台市	宮城県後期高齢者医療広域連合議会	吉田
1月28日	議場	令和7年第1回臨時議会	議員全員
1月30日	蔵王町	仙南巨理議員研修会・表彰式	正副議長
1月31日	仙台市	宮城県町村議会正副議長研修会	5議員
2月3日	東京都	宮城県町村議会正副議長研修会	正副議長
2月4日	仙台市	宮城県後期高齢者医療広域連合議会	議長
2月6日	仙台市	北方領土の日東松島大会	吉田
2月7日	東松島市	建国記念の日を祝う宮城県大会	議長
2月11日	仙台市	仙南地域広域行政事務組合議会	議長
2月14日	大河南町	総文・産建管事務調査	議長・渡部
2月19日	第2会議室	宮城県町村議会正副議長定期総会	委員全員
2月20日	仙台市	議会運営委員会・全員協議会	議長
2月25日	第3会議室	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部
2月26日	大河南町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長
3月1日	西山学院	卒業式	正副議長・議員

「老朽化した上下水道の維持管理は万全か」

調査実施日 令和7年2月19日
調査事項 簡易水道施設の現状と今後の整備計画（課題）について
産業建設常任委員会 委員長 渡部 英 幸

自然災害の多発する今日において、住民生活に欠かせない簡易水道の点検整備は行政にとって重要な業務であり、中でも町内の上下水道管は敷設から40年から50年が経過し、町内全域で管路の老朽化が進んでいるため、簡易水道の現状と今後の整備計画について「七ヶ宿町簡易水道事業計画」を基に調査した結果、各委員からは以下のような意見や提言がありました。

- 1、集落によって管路の敷設時期に違いはあるが、すでに40年から50年が経過しており、近年、漏水による断水が比較的多発傾向にあることから町内全域の管路点検を計画的に実施すべきである。
- 2、昨今、問題視されている有機フッ素化合物の一種PFASに対する関心が町内においても高まっていることから、定期的な水質検査の内容を町民に分かりやすく周知すべきである。
- 3、今後、新たな管路を敷設する場合、簡易水道予算が企業会計処理となったことを踏まえ、民有地の買収など必要以上の事業経費の掛かる事業は控えるべきである。
- 4、簡易水道特別会計が企業会計に代わり、近い将来に利用料金の見直しも想定されることから、大規模な改修、補修工事にならないよう、常日頃からの点検強化につとめる事が必要である。

以上、町民にとって日々の生活に必要不可欠な、簡易水道の環境維持に対する監視機能の強化と腐食の恐れなどに対する早期対応を強く望み報告とします。

自治功労者表彰



令和7年2月5日に多年にわたる地域振興発展への功績により、全国町村議会議長会並びに宮城県町村議会議長会より管原研治議長が表彰されました。今後の活躍を期待します。

今月号の表紙は「令和7年度 関保育所入所・進級式」です。

入所式では先生が温かく接し、笑顔を見せる場面や保護者の方と楽しそうに話しているのは微笑ましいものでした。運動場や遊具も整備され、子どもたちがすくすく成長される事を切に願います。





よしだ おさむ 議員

問 町内各集落の人口減少は深刻である。地域課題として、若者の町外流出、高齢者一人暮らしの増加、空き家や休耕田の増加、さらには地域役員の高齢化、なり手不足など現実となっている。

問 担い手づくり支援住宅が関・瀬見原地区に偏っているが各集落活性化のため、他の地区にも建設できないか。



▲担い手支援住宅（瀬見原地区）

答 人口減少を最小限に抑えるため、「移住・定住」政策に取り組んできた。移住者も増え現在、減少スピードは穏やかになってきている。「担い手づくり支援住宅」（現在19棟）の建設候補地として関地区以外の町有地も提案しているが、現状では入居者が関地区周辺を希望していることを理解してほしい。

問 登録空き家バンクは持ち主と買い手（借り手）などが基本となるが、若者に限定して移住・定住促進を目的に購入補助金助成などできないか。

答 補助金助成については、街並み景観整備補助金、空き家改修助成や家財処分助成など環境整備を行い、移住・定住促進を図ってきた。現在の条例が令和8年3月31日までとなっているので、質問事項を含め、空き家活用事業を検討して行きたい。



▲空き家対策は急務である

問 担い手づくり支援住宅、他集落にも建設できないか

答 入居応募者は関地区等を希望しているのが現状

問 空き家状況について、行政も積極的に地域をこまめに回り地域住民の声を聴きながら、空き家の活用などを進めるべきではないか。

答 毎年各地区行政懇談会の中で、区長さんや地区住民の皆さんに移住者呼び込みには、空き家の活用が重要とのことを申し上げている。

【白川チェックシート】
人口減少による地域過疎化進行が心配される。5年、10年先はどうなるのか。次世代を担う若い人や移住者などのように受け入れ残すのか。行政だけでなく地域住民、若い人も一緒になって考えて行かなければならない課題である。

問 七ヶ宿町の地域防災、今後の進め方は

答 住民の生命や財産を守るのが町の使命、しっかりと対応していく

問 町民の安全安心を守る消防団員の人員確保や円滑な消防活動のため行政として具体的な対応を考える必要があるのではないか。

答 令和6年度の団員数は機能別団員を含め124名と前年度と比較して3名増員となっている。相互の安全確保や機械器具の適切な更新を計画的に実施し対応したい。

問 防災の最前線に立つ消防団員にはしっかり活動頂くため、今後、団員報酬

問 の見直しを行う必要があるのではないか。

答 令和4年度に団員報酬を平均3万6千500円に改訂しており、団員報酬とは別に後継者育成として団員一人当たり5千円を支給している。

問 他の町では定期演習などどの場で団員が働いている町内の会社や企業に感謝状を贈呈しているが、町も同様の配慮が必要ではないか。

答 各企業の協力に対しては、その都度、感謝し御礼している。また、社会貢献事業の協力企業として認定している。



▲6・12 防災訓練

問 町では6・12総合防災訓練を実施しているが、高齢化社会へと進む中、より実践的な避難の仕方や支援の受け方などの訓練が必要ではないか。

答 各行政区の役員、国・県の各機関及び仙南広域消防本部、社会福祉協議会などの協力をいただき訓練内容を決定しているため、必要があれば積極的に取り入れていく。

問 町には現在、「豪雪対策本部設置要項」が設けられているが、高齢者や独居世帯の増える中で現状に即した内容に見直すべきではないか。

答 豪雪対策本部の設置は積雪量などで住民生活や産業活動に影響がある場合に設置することとしているのを見直す考えはない。

問 隣の某市では高齢者等除雪救助員派遣事業や高齢者等雪下ろし助成事業など具体的な支援事業が記載

されている。

答 本町でも具体的な支援内容を記載すべきではないか。

答 先進地の内容等についてはしっかりと研究し、本町として取り入れる要素があれば検討していく。



▲屋根の除雪作業

【白川チェックシート】
自然災害が多発する中で、防災の重要性をより身近に感じながら質問したが、消防団活動の夜警や防火査察、災害発生時などの団員確保に向け、報酬の見直しは改めて必要と感じました。また、今年の豪雪は類を見ない規模の積雪となり、豪雪対策本部設置要綱については、今後も具体的な支援体制の確立を強く求めたいと感じました。



たかはし ひろゆき 議員



五十嵐 敏夫 議員

範囲で地域の实情に応じて実施していただきたい。

問 国道113号線沿線に不法投棄されているゴミの量が増加しているが町の不法投棄防止対策が機能していないのではないかと。

答 町は「不法投棄対策協議会」を組織しており、毎年1回、国道や河川あるいは不法投棄された部分については対処し対応しているところである。また、各地区に監視員を配置しながら情報収集をして町として状況を把握している。なお、国道のごみの不法投棄については国道を管理している宮城県の方としっかり協議をさせていただきたい。

問 自治会役員の高齢化による担い手不足の中心「行政事務委託作業」などが今後継続できるか不安視されているが今後の委託業務に対する考えは。

※行政事務委託作業とは
町道や林道の草刈作業並びに観光地の清掃作業などを、各地区自治会に作業委託されている制度

答 確かに各自治会へ草刈作業や観光地清掃作業を委託しているが、作業が困難と判断された場合は、町にて対応する。

問 近年まれにみる大雪のため「豪雪対策本部」を設置したが、地区のスノーボランティア活動も高齢化の為、対処ができないでいる。業者などへの委託の助成金制度の新設検討ができないか。

答 降雪量が多くなる時は本町だけでなく、除排雪作業を請け負っていただく業者の確保が難しいと承知している。地域内での助け合いが望ましいが、助成金制度の在り方については検討していく。



【目】チェックシート
人口減少による各地区の自治会活動の限界が見え隠れし、冬季間の除排雪作業もままならない。
更なる町の住民サービスの向上を望むものである。

自分の仕事を消化して適正な給料をいただく、それが労働者としての役割と思っている。

【目】チェックシート
観光施設に関する一般質問はこれまで何度も行ってききました。
管理者は今回の質問で、働く場があるからこそ雇用が生まれ、従業員は上司からの指示に従うものと言われました。

しかし、意見交換の場がない様に感じられ、運営が完全に上から目線であるように思われます。
本来、施設の運営は、働く人々の意欲によって支えられるべきではないかと強く感じています。

今後とも議員として、これまでに以上に施設全体を見守り、議会で積極的に発言していく事が自分の役目であると考えます。

問 町内全体としては移住者の増加もあるが、関地区外の住民の減少と高齢化が著しく、「一斉フリーン運動」等の作業継続が困難な状況であるがどのように考えるか。

答 各地区の行事運営に苦慮していることは承知している。協力頂いている「一斉フリーン運動」については、「自分の地域は自分で守る」の意識、使命感の下、可能な

問 人口減少に伴う地域の存続対策は

答 地域の実情に応じ無理のない活動を望む

問 指定管理施設の今後の町の指導、管理は

答 事業報告を受け施設の状況把握に努める

問 昨年のまちづくり株式会社との統合後、各施設の従業員から「今の会社のやり方についていけない」「会社が壊れる前に人が壊れる」「統合してから良いことがない」など不安や不満の声が上がっている中で、行政として指定管理施設の状況をどのように把握しているのか。

答 不満とか不安という部分については具体的に承知していないが、60名を超える組織だから色々なことが起

きると考えられるので、その都度会社の中で対応するのが第一であり、町も指定管理者と調整事業が発生したら解決に向けて努力する。

問 以前、町長は統合すれば従業員の数が増え、様々な部所の異動で効率的に運営が出来ると発言されたが、従業員を物のように考え扱えばこの事業は最終的に失敗するのではないかと。

答 町に第3セクターが2箇所有ること自体好ましくない。指令系統が一本化でき人事面でも色々な職場を経験して、その方に適した能力を発揮できる様に考え統合した。

問 統合した会社に管理職を追加されました。以前の一般質問で、人選は慎重



渡部 英幸 議員

クローズアップ 湯原地区の祭り

湯原地区では5月3日に「湯原熊野神社春祭り」が行われます。

祭りの歴史は浅く、地区の行事として昭和50年頃から子どもが手づくりした神輿で地区内を練り歩くようになったことが始まりです。

昭和59年には、宝くじの助成金で本神輿を購入し、地区の若者が中心となり本格的な祭りとして地域で定着しました。

現在は神主が湯原熊野神社で神事を行い、今年の「家内安全」「五穀豊穣」「交通安全」を祈願します。

桜と共に春を告げる祭りとして湯原地区民上げて楽しみにしています。神輿の練り歩きの後には、「湯原ふれあい館」にて直会（なおりい）が行われ、「湯原大黒舞」の踊りやカラオケ、新しく地区に住んだ方の紹介などがあり、大いに盛り上がりがあります。

夏は8月14日に地区の消防団を中心に「湯原盆踊り」が行われます。地区民上げての参加はの短い夏を忘れる程盛り上がりがあります。

また、ふるさとに帰省した友人との再開も楽しみのひとつです。

お盆には湯原提灯祭りが行われます。一度止めていましたが自治会役員の方の熱い思いにより復活しました。祭りの間は各家庭に提灯の明かりが灯ります。湯原地区の祭りは住民のつながりを大切にしています。



▲湯原の神輿

湯原自治会会長 高橋正雄様よりお話を伺いました。



▲冬の湯原熊野神社

議会と語る会のお知らせ

5月15日横川公民館・16日湯原コミュニティセンターで「議会と語る会」を開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

編集後記

豪雪という表現がまさに現実となった今年の冬でした。

毎朝、除雪車の音で目が覚め、早々に自宅の雪かきが始まります。

どんなに頑張っても翌日は同じ状態です、終わりの見えない降雪は雪害と思えるものでした。

水芭蕉が咲き、こぶしの花も芽吹き、待ち遠しかった春の日差しが一日と温かく心を和ませてくれます。

この原稿が出る頃、湯原熊野神社の桜が満開です。
(高橋浩之)



議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

広報だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。

現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

3月定例会の傍聴者は19名でした